

フルートの取り扱いについて

■組み立て方

【管の接続】

頭部管は、歌口と接続部の中間を握ります。本管は接続管を握り、ゆっくりと力を入れなくて少し回して接続します。

足部管は、キーメカニズムの無い最下部を握り、同じように接続します。

各管のセットは吹きやすく、フルートの支持と指の操作しやすい標準の位置にします。

【接続部のスリ合わせ】

接続部は、汗、汚れ、傷等が付くと、きつくなり抜き差しが困難になります。

汗、汚れを少し湿らせた布で拭き取り後、カラ拭きします。

傷が浅く少ない時にはロウを少し塗り、ゆっくりと管を接続し、何回か回してスリ合わせた後、両方のロウをティッシュペーパーで拭き取ります。表面が滑らかになり抜き差しが楽になります。

■手入れの仕方

演奏後はすぐに、管内の水滴を良くガーゼでふきとります。

フルートの表面は少し湿らせた布で水拭きした後、拭き取りの良い布かセーム皮でカラ拭きします。

タンポ(特にトリル、C#、G#、E♭)にも水滴がつきます。吸い取りの良い紙(油取り紙等)で取って下さい。

【注意】

- 演奏の間でも、時々管内とタンポの水滴を取ります。
(響きが良くなり、ミストーンがなくなります)
- 歌口内の壁面は、綿棒を少し湿らせて拭きます。
- 水拭、カラ拭はタンポ、フェルト、コルクに触れないように注意して下さい。
- 頭部管上部の栓が緩いときは、軽く絞めて下さい。
(コルク栓から歌口の中心が17mm.か確認します)
- 演奏後そのまま放置しないで下さい。変色、サビの原因となり、タンポ、コルク、フェルトの消耗が早くなります。手入れをしてケースにしまってください。
- ケース内は時々掃除機でホコリを吸い取って下さい。
- 湿ったガーゼはケース、バック内に入れないで下さい。
- 調整等のメンテナンスは半年から一年が目安です。

※内容の不明な点と修理のお問い合わせは下記へ

ジュン・ミュージック

住所/TEL:東京都中野区上高田1丁目35-10 / 03-6804-7745